

多様なFSC認証製品の流通拡大による クリーンウッド社会の実現

～林業成長産業化地域創出モデル事業～

平成31年2月14日(木)



浜 松 市

浜松市における森林・林業行政①

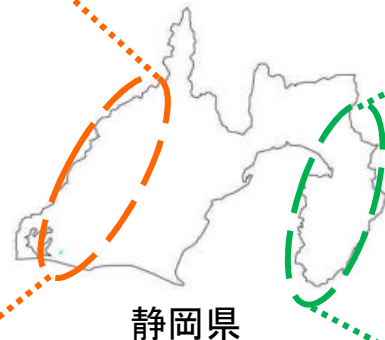
浜松市 **1,558.06km²**

(市町村別面積全国2位)

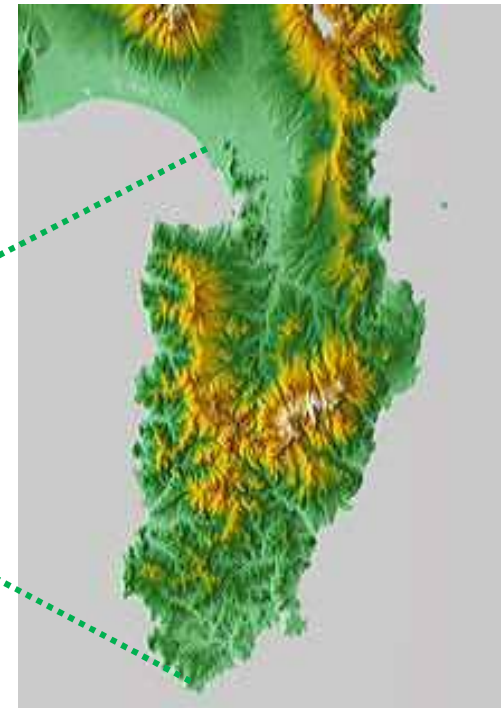
> 伊豆半島 1,421.24km²

平成17年7月1日
12市町村合併

平成19年4月1日
政令指定都市移行



静岡県



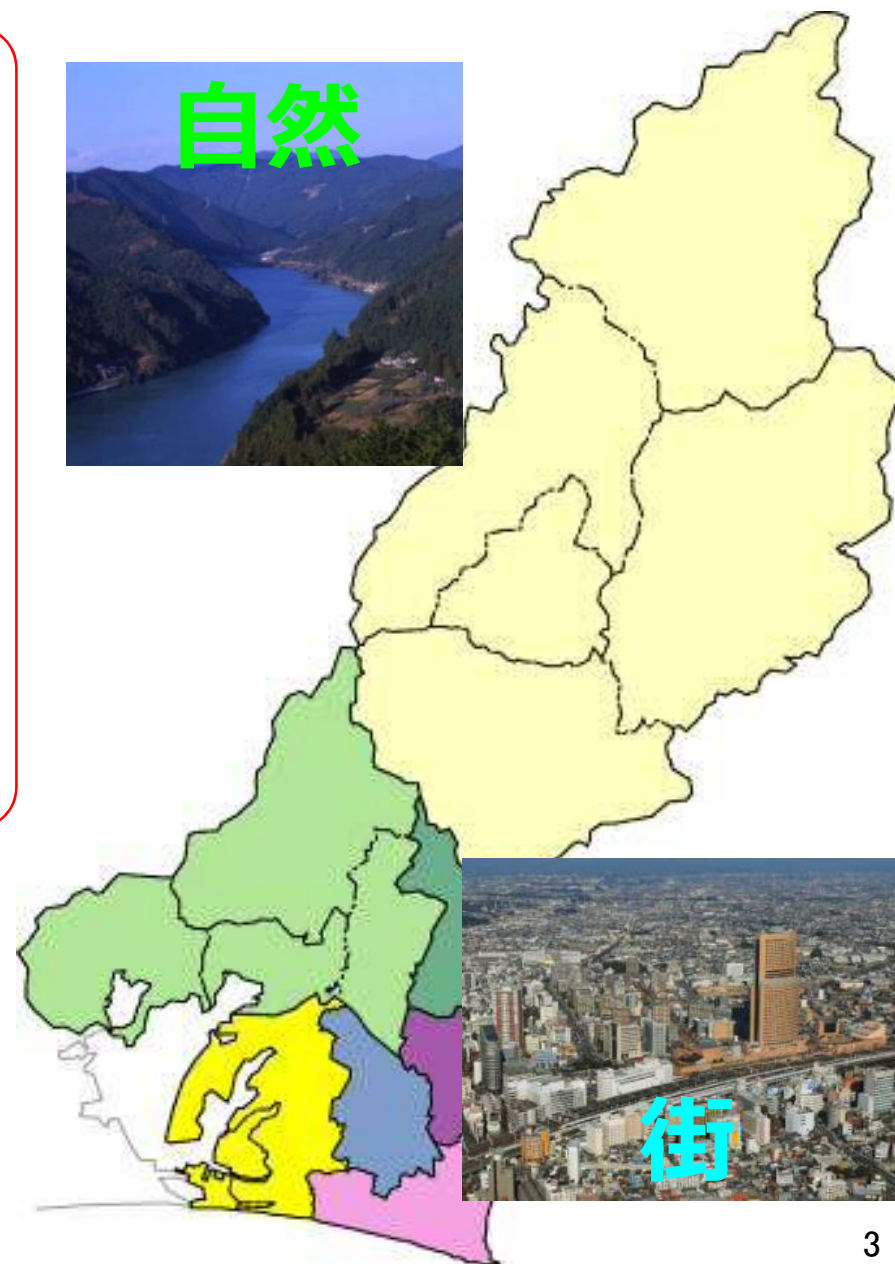
市域面積の66%にあたる **1,030km²が森林**

植林により造られたスギやヒノキによる美しい人工林「天竜美林」は、尾鷲、吉野と並び“日本3大人工美林”と称されている。

浜松市における森林・林業行政②

森林・林業ビジョンの策定

- 平成17年7月合併 新「浜松市」
 - ・ 12市町村が合併、平成19年4月に政令指定都市へ移行
- 面積が広く、人工林が多い浜松の森林
 - ・ この森林をどうするか・・・？
- 浜松市森林・林業ビジョンを策定(平成19年3月策定)
 - ・ 中長期的(30年後)な視点で、浜松市の森林・林業のあるべき姿(将来像)、森林経営・管理の方針などを描いた「価値ある森林の共創」
 - 「育てる林業」から「売る林業」へ
 - 世界で通用する森林認証の取得を推進



〔国、県、市の森林面積〕

(千ha)

	全域面積	森林面積	森林率	人工林率
国	37,790	25,081	66.4%	41%
静岡県	778	498	64.0%	58%
浜松市	156	103	66.0%	76%

※ 国:「平成30年度版 森林・林業白書」

※ 県、市:「静岡県森林・林業統計要覧(平成29年度版)」

浜松市における森林・林業行政③

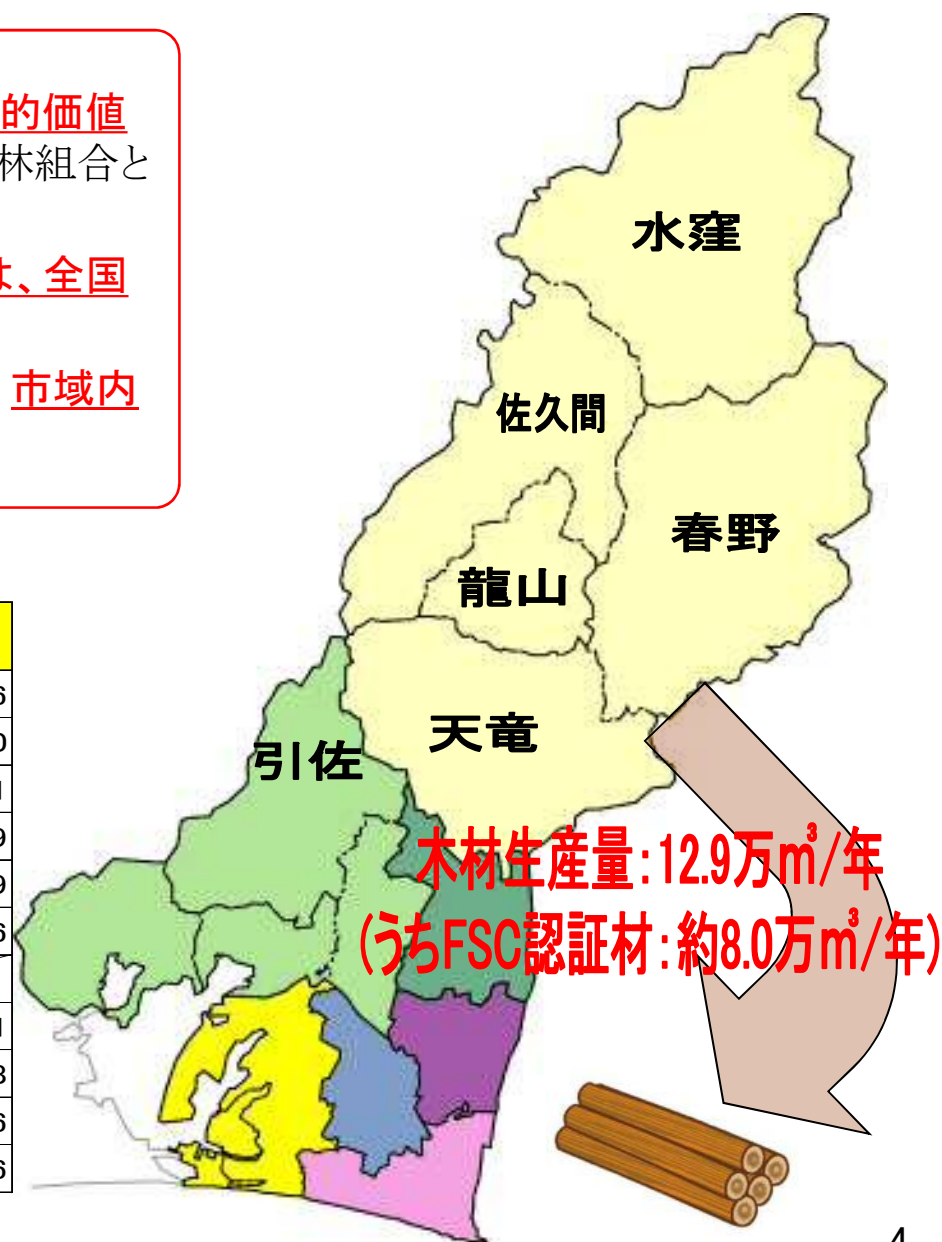
浜松市におけるFSCの取得状況

- 持続的かつ適切な森林管理や天竜美林の環境的価値の創造を目的に、平成22年3月、市内の6つの森林組合と市・県・国等が連携してFSC森林認証を取得
- 複数の森林組合が連携して認証を取得したのは、全国初の事例
- 現在のFSC森林認証取得面積は45,270haで、市域内民有林の約70%を占める

〔 FSC取得面積と材積(H31.1月末現在) 〕

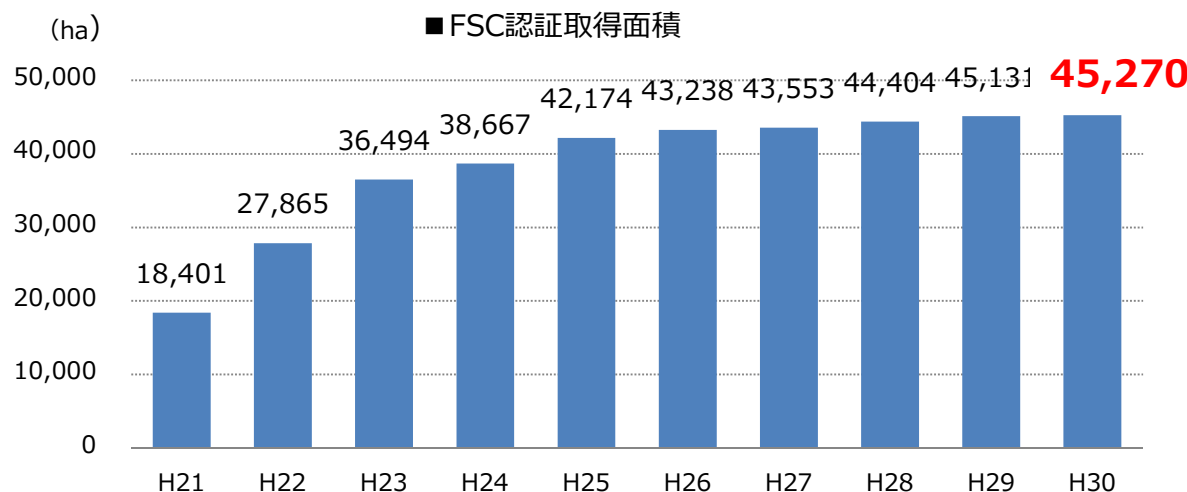
森林組合名	森林面積 (ha)	FSC認証林面積 (ha)	認証取得割合 (%)	FSC認証林 想定蓄積量(m³)
天竜	14,933	13,832	93%	4,278,436
春野	23,191	13,300	57%	3,970,720
佐久間	15,405	4,337	28%	1,439,151
水窪	26,163	3,419	13%	941,769
龍山	6,593	4,332	66%	1,807,189
引佐	8,594	2,342	27%	608,806
その他	7,649			
市有林		641		23,731
県有林		1,189		233,238
国有林		1,878		507,056
計	102,528	45,270	44%	13,810,096

※ 「その他」は、旧浜松市、旧浜北市、旧舞阪町、旧雄踏町、旧細江町、旧三ヶ日町
 ※ 市・県・国有林の森林面積は、各管内の森林組合の面積に含む

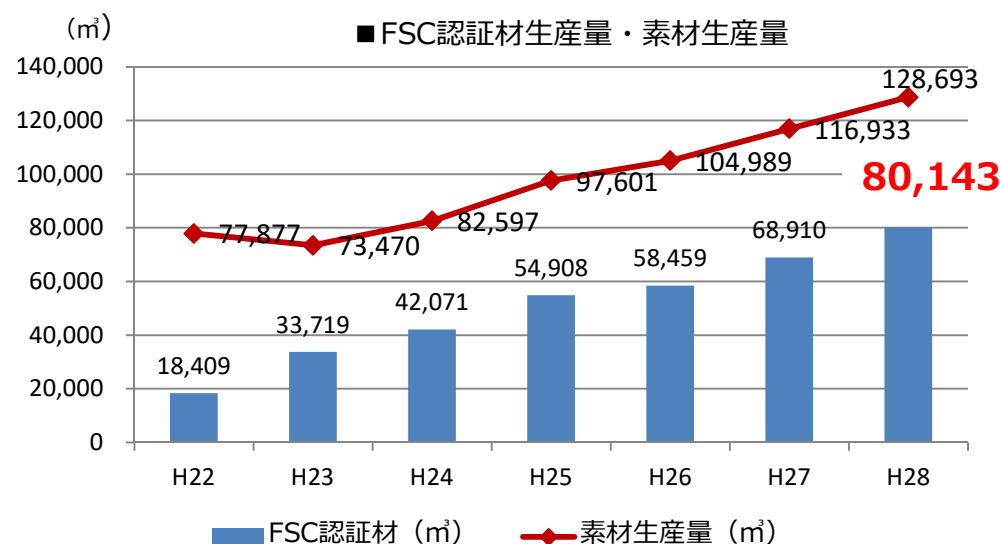


浜松市における森林・林業行政④

- FSC森林認証面積は認証取得以降年々拡大し、現在は**45,270ha**で市町村別取得面積**全国1位**
- FSC認証材生産量も素材生産量と共に年々拡大し、**年間約8万m³**と**全国トップクラス**
- FSC-COC認証取得団体は市内に約80事業者あり、**全国で最もサプライチェーンが繋がっている地域のひとつ**



管理が行き届いたFSC認証林



浜松地域林業成長産業化地域構想の概要①

▶ 参画事業者・団体

素材生産

天竜森林組合
春野森林組合
引佐町森林組合

製材・加工

(株)フジイチ
双竜木材(株)
(株)ヤマトウ製材所
天竜国産材事業協同組合

木材流通(需要)

(株)鈴三材木店
(株)マルホン
鹿島木材(株)
永田木材(株)

その他

静岡県農林技術研究所 森林林業研究センター

行政

浜松市

▶ 推進組織（進捗管理・評価等）

浜松地域林業成長産業化地域構想推進会議

<委員>

参画事業者・団体

<外部委員（アドバイザー）>

(株)ユニバーサルデザイン総合研究所代表取締役所長 赤池 学
東京大学大学院農学生命科学研究科准教授 仁多見 俊夫

<オブザーバー>

林野庁関東森林管理局 天竜森林管理署
静岡県西部農林事務所 天竜農林局
静岡県森林組合連合会

浜松地域林業成長産業化地域構想の概要②

～目指す将来像～

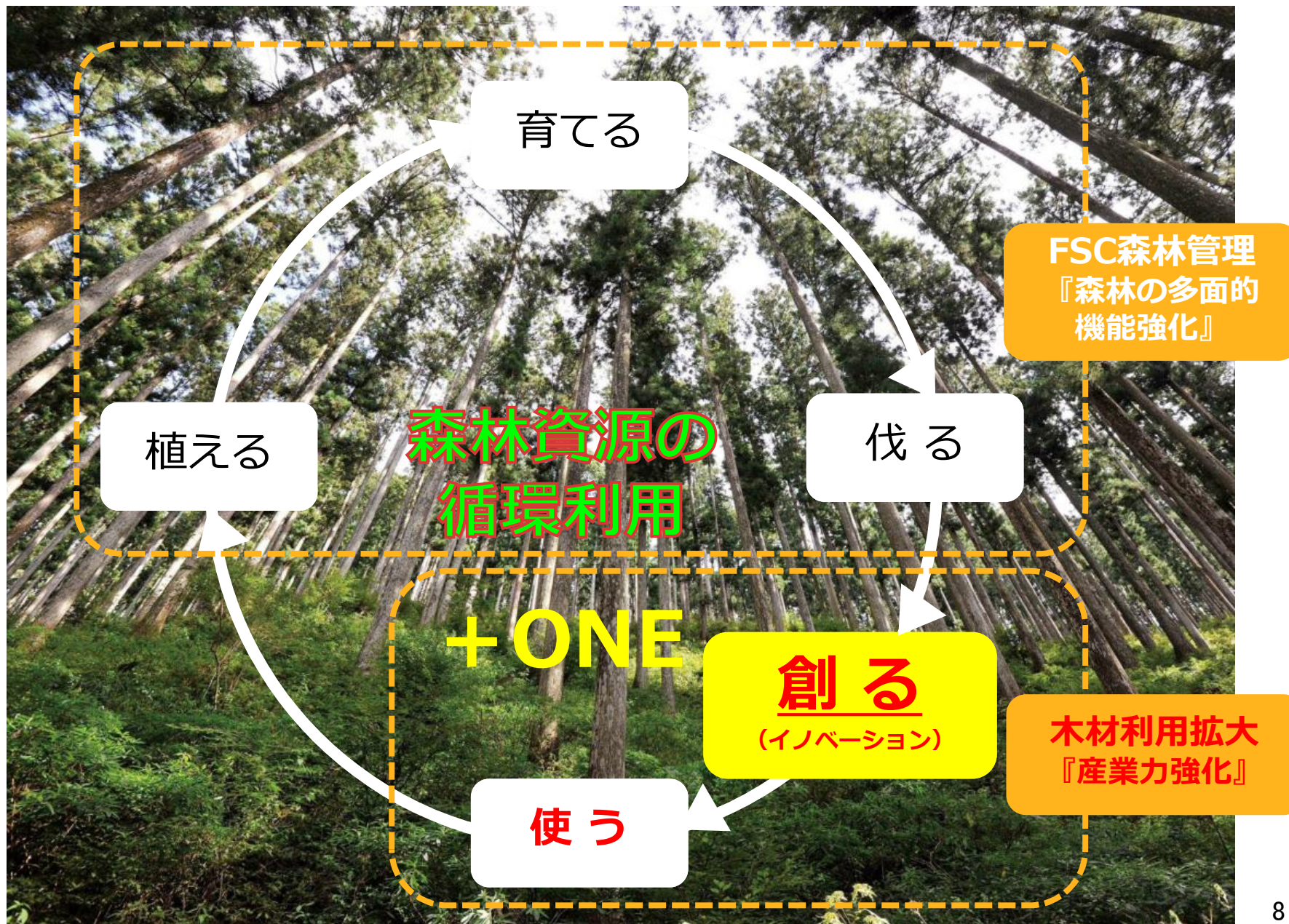
多様なFSC認証製品の流通拡大によるクリーンウッド社会の実現

<ポイント>

- 森林資源の循環利用を進めるためには、木材の出口対策、すなわち木材需要の開拓や木材の流通・販路拡大が最も重要
- エンドユーザー起点のFSC認証製品サプライチェーンの構築により森林所有者、川上から川下までの事業者には利益や雇用を生み出す
- 地域の「素材生産」「製材・加工」「木材流通」のキープレイヤーが一体となった、大型木材会社に依存しない都市部モデル



浜松版「森林資源の循環利用」

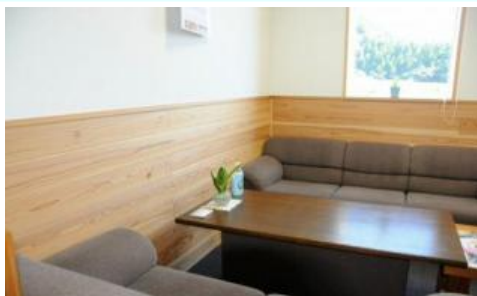


FSC認証材の利用・発信～公共物件等へのFSC認証材利用①～

- FSC森林認証には、森林管理が対象のFM(Forest Management)認証と加工・流通・工務店等が対象のCOC(Chain of Custody認証)認証が存在
- COC認証を取得していない加工・建築等業者が連携して「FSC認証の製品」と主張する「プロジェクト認証制度」を積極的に活用し、対外的にFSC認証材の利用をPR

【天竜区役所】

- 平成23年3月、新設した天竜区役所の一部(家具、受水槽、区長室内腰壁)において、公共建築物として全国で初めてFSCプロジェクト認証を取得



【浜松信用金庫於呂支店】

- プロジェクト認証制度を活用し、金融機関の建築物としては全国初の「FSCの店舗」と認められた店舗



FSC認証材の利用・発信～公共物件等へのFSC認証材利用②～

【浜松中部学園】

- 平成29年4月に開校した浜松中部学園において、学校施設として全国で初めてFSCプロジェクト認証を取得
- 本プロジェクト認証対象部分以外にも天竜材を使用したFSC認証製品の木製机・椅子を導入



【浜松市立浜名中学校】

- 平成30年3月に完成した浜名中学校において、FSCプロジェクト認証を取得。学校施設として全国最大のFSC認証材使用量（約215m³）
- 本プロジェクト認証対象部分以外にも全普通教室と音楽室に天竜材を使用したFSC認証製品の木製机・椅子を導入



都市部をターゲットとした地産外商事業～天竜材(FSC認証材)の販路拡大①～

- 天竜材の販路拡大やFSC森林認証のPRを目的に、日本最大の住宅・建築関連専門展示会である「Japan Home & Building Show」に浜松市ブースを出展
- 天竜材の認知度向上や新たな交流の創出、これまでに知り合った大手ゼネコン・設計業等関係者との継続的・定期的な意見交換の機会となっている

イベントの概要

- 日時
＜H29＞平成29年11月15日～17日
＜H30＞平成30年11月20日～22日
- 場所
東京ビッグサイト(東京都江東区有明)
- 展示内容
 - ・ FSC認証材(天竜材板製品)
 - ・ 静岡県草薙総合運動場「このはなアリーナ」構造模型
 - ・ FSC認証製品(小物)
 - ・ パンフレット(4種類)、浜松マグネットの配布
- 備考
 - ・ 当日のブース運営については、市内6森林組合や県などと協力して実施



【展示ブースの概要及び説明の様子(H29開催)】

都市部をターゲットとした地産外商事業～天竜材(FSC認証材)の販路拡大②～

- 天竜材の販路拡大を目的としたミーティング「天竜材セールスミーティング」を開催
- 平成29年度には、家具関係への天竜材の販路拡大を目的に大手家具メーカーを招き、平成30年度には、FSC認証紙への天竜材の活用を目的に持続可能な調達に配慮している企業を招いて開催

29年度ミーティングの概要

- 日時 平成30年3月22日(木)
- 場所 東京都千代田区
(都市センターホテル)
- 内容
 - ① 浜松市木材関係事業体からの商品説明及び取組紹介
 - ② 大手家具メーカーの取組事例紹介
 - ③ 意見交換 等



【ミーティングの様子】

30年度ミーティングの概要

- 日時 平成30年11月15日(木)
- 場所 東京都千代田区
(砂防会館)
- 内容
 - ① 浜松市木材関係事業体からの商品説明及び取組紹介
 - ② 意見交換 等



【ミーティングの様子】

都市部をターゲットとした地産外商事業～天竜材(FSC認証材)の販路拡大③～

- 天竜材の販路拡大・新分野展開、天竜ブランドの確立等を目的に、平成29年度から大手家具製造メーカーと連携した製品開発事業を開始
- 平成29年度は、(株)イトーキとの連携による「健康経営を意識したミーティングチェア」を製作し、今後、イトーキは自社の販売網を通じて全国販売
- 平成30年度は、3社(株)イトーキ、(株)オカムラ、ナイス(株)と連携した事業を実施中



都市部をターゲットとした地産外商事業～企業と連携した取組～

スターバックスコーヒー浜松城公園店とワークショップを共同開催

- 日時 平成30年8月1日(水)
- 場所 スタバ浜松城公園店、浜松城公園
- 内容 森に関する紙芝居、天竜材(FSC認証材)を活用したマイ箸づくり



【スタバスタッフから読み聞かせ】



【市職員からの説明】



【公園に移動しマイ箸づくり】



【記念撮影】

イオンモール浜松市野で天竜材(FSC認証材)の家具を展示

- 期間 平成30年10月～12月
- 概要 浜松市とイオン(株)が締結した包括提携協定(平成23年12月)の一環として、天竜材(FSC認証材)を使った家具(FSC製品)の展示を行い、多くの方に天竜材の香りや肌触りを実感してもらうとともに、FSC認証をPR

FSC認証のテーブル・
長椅子・スツール
(製作:天竜森林組合)



FSC認証のスツール
【プロメネーラ】
(製作:(株)イトーキ)

天竜材(FSC認証材)・森林フィールド活用等による都市間連携・交流



Next Generation Next Vision ワーキング

- 林業・木材産業の発展のためには、現状の課題解決のための施策だけではなく、**10年、20年先の未来を見据えた中・長期的な施策が必要**
- そこで、**次代を担う全事業実施主体の若手社員(20代・30代)**によりワーキングチームを結成し、**将来の当地域の在り方、進むべき方向性や取り組むべき施策を議論**
- 最先端技術の導入や抜本的な方針転換等を検討し、昔ながらのしがらみや、古い慣例にとらわれることなく、**新しい発想で、“変化”と“挑戦”をテーマに施策を企画・立案**
- ワーキングで企画したものを、推進会議で報告・提案し、新たな事業につなげていく

<ワーキングの取組>

- ・メンバーが主体となって動く
- ・高いモチベーションで取り組む
- ・自由に発言できる場とする
- ・積極的に問題・課題提起する
- ・新たな可能性に挑戦する
- ・積極的な縦連携、横連携を図る
- ・他の業界を巻き込んでいく
- ・対外的にアピールしていく

《検討すべきこと》

- ・実現すべき理想の姿は？
- ・10年、20年先の課題は？



- ・そのために何が必要か？
- ・今からやるべきことは？



- ・最終的な目標、成果は？
- ・アウトプットはどうするか？

○連携をより密でオープンな関係に！



○新しい発想で！

- ・異業種との連携
- ・最先端技術・機器の活用
- ・SNSの活用
- ・ブランド戦略
- ・これまでにない取組 etc...

林業成長産業化地域構想

H29 H30 H31 H32 H33

ワーキングメンバーが主役となって活躍する時代の
新たな構想「**Next Vision**」を策定する

Next Vision

..... H39 H49

Vision実現に向けて動き出す！

Next Generation Next Vision ワーキング～異業種連携による人材育成～

- 平成30年度Next Generation Next Vision ワーキングの活動として、「異業種連携による人材育成」をテーマに、素材生産現場、製材工場、木材流通販売施設の見学を実施
- 林業・木材産業における他業種の現場・業務について理解することで、業種間の連携強化、自社業務の生産性向上に繋げるとともに、新たな取組に向けた発想力を鍛える

素材生産



素材生産現場
【天竜森林組合現場】

製材・加工



製材・加工工場
【㈱フジイチ製材工場】

木材流通



フローリング展示場
【㈱マルホン本社ショールーム】

IMAGINATION



リノベーション販売施設
【㈱鈴三材木店「HOME」】